

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	健康相談事業	担当課	健康づくり課
事業内容(簡潔に)	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理を図る。		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	元気で健やかに暮らせるまちづくり	
	政策	一人ひとりが、いつまでも健康なまちづくり	
	施策	健康づくりの推進	
関連する個別計画等	健康増進計画	根拠条例等	健康増進法

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	・ 荏崎市健康増進計画に基づき、市民の健康の保持と推進を目的とする。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診結果報告会での個別相談（R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止） ・ 健診結果生活習慣病ハイリスク者への個別相談 ・ がん検診等精密検査未受診者フォロー ・ 歯科相談、歯と口の健康無料相談（R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）等
事業の対象	心身の健康に関して相談のある者、健康管理上必要な者又はその家族等

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
財 源 内 訳	A 事業費 (千円)	1,400	1,485	1,133
	国・県支出金	113	113	113
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	1,287	1,372	1,020
B 担当職員数(職員E) (人)	0.28	0.28	0.30	
C 人件費(平均人件費×E) (千円)	2,051	1,880	1,973	
D 総事業費(A+C) (千円)	3,451	3,365	3,106	
主な事業費用の説明	総合健診歯科相談 歯科医師・歯科衛生士謝金、総合健診結果等郵送料			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 病態別健康相談 (総合健診結果報告会)	病態別健康相談回数:集団(回) 病態別健康相談回数:個別(回)	41 0	45 0	0 84
	2 定期健康相談	開催回数(回)	92	92	96
	3 口腔衛生週間歯科相談	開催回数(回)	1	1	0
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	総合健診後、生活習慣病予防のため病態別の健康相談を行っている。R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため結果報告会は中止し、ハイリスク者に対し個別連絡にて健康相談を実施した。			
	2	週2回定期相談日として、市民が健康に関して相談しやすいよう周知している。心の健康相談や虐待などの家族相談を行っている。また、随時来所・電話相談に応じている。			
	3	歯と口の健康習慣に歯科医師、歯科衛生士等関係機関と共に開催している(R2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	生活習慣病予防相談者数 相談者数: 集団 (人) 相談者数: 個別 (人)	923 0	1,019 0	0 84
	2	定例健康相談者数	140	153	69
	3	□ 口腔衛生週間歯科相談者数	342	362	0
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない			
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を総合的に判断すると、新型コロナウイルスの影響を受けた R2 を除き、相談者数は増加。個々の健診結果を見ながら、精密検査の受診勧奨や生活習慣の問題点を共有しセルフケア能力を高められるような指導を行っている (R2 に関しては、結果報告会を中止したため、人数が減少しているが、ハイリスク者に対し完全個別連絡にて対応した。) 			
	2	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を総合的に判断すると、新型コロナウイルスの影響を受けた R2 を除き、相談者数は増加傾向。例年 8 月～12 月にかけて健診結果に関する相談が多いが、外出自粛等により相談に来所される方が減少した。虐待や精神保健関係、家族の健康に関する相談が増加しており、継続的な支援が必要、複雑なケースが多い。 			
	3	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を総合的に判断すると、新型コロナウイルスの影響を受けた R2 を除き、相談者数は増加傾向。R2 は感染リスクが高く、実施をすることができなかった。 			

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)	
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	令和3年度の改善計画 (今後の事業展開説明) <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの蔓延が続いており、健診結果報告会等、集団での指導は控えるが、ハイリスク者に対する個別相談は継続し生活習慣病重症化予防に努める。なお、今後、感染状況が好転した際には R4 から結果報告会の再開を検討し、幅広い世代や中程度のリスク者に関する指導も実施していく。 	
過去の改善経過	改善の経過	昭和 58 年度から老人保健法施行に伴い健康相談事業として実施。平成 20 年度からは、老人保健法が廃止され健康増進法に基づき事業を継続している。
	直近の評価結果	内部評価 令和元年度 <input type="checkbox"/> 拡大 - <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 外部評価 対象外 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		改善案
課長所見	健康に関して不安を持つ市民に専門職が個々に相談対応することで本人に合った助言や指導を行うことが出来る。新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、個別の状況に応じた改善への支援ができるように今後も取り組んでいく必要がある。	